

ふれあい

地区委員会により
第59号
《2月発行》

青少年育成葛西地区委員会

おもしろ!!

夏期講演会

サイエンスショー

令和5年7月2日(日)
第二葛西小学校 屋内運動場



青少年育成葛西地区委員会
研修部初の試みとして、宮城県
仙台市在住、防災キヤスターや
サイエンスインストラクターと
して活躍されている阿部清人
先生をお招きして、サイエンス
ショーを開催いたしました。

当日は、関係者を含め232
名の方々に参加いただき、うち
子ども113名でした。

会場の体育館の壇上には、大
きな穴の開いた箱・ピラミッド
状に積み上げられた紙コップ・
水の入った水槽・ドライヤー・
ボール等いろいろな道具がテー
ブルの上に準備されており、こ
れからどんなことが起こるのか
ワクワクする気持ちを抑え開始
時間を待ちました。

ショーが始まるにつれて、阿部
先生のユーモアを交えた楽しく
わかりやすい話術で、子どもたちは
どんどん「阿部ワールド」に引き込まれていくのが感じられました。

「大きな袋に空気を入れるのは何秒かかる?」
「あー一瞬にして空気が入って袋は膨らんだ。」
「ブレーマンはどこへ向かって飛んで行く?」
「あれ?必ず投げた自分のところへ戻ってくる。」
「コップの中の水は落ちる?落ちない?」
「あれ!落ちない!」

子どもたちの歓喜の音が体育館中に響き渡り、途中休憩を挟んだ
90分間のショーはあっという間に終演となりました。

終了後の参加者からのアンケートには、多くの方々より「楽しく学
べた」と喜びの感想をいただきました。今回の体験をきっかけに将来
の夢へとつながる子どもたちがきつと現れることでしょう。今後もこ
のような企画が実現できるよう、邁進してまいります。

【研修部員 伊澤 昭子】



ポイントラリー&ターゲットボッチャ

令和5年12月3日(日)長島・桑川地区、新川沿い



【青少年委員 山口 秀行】

今年のポイントラリーは「長島・桑川地区の謎を解
き明かせ!」と題して、長島・桑川コミュニティ会館をス
タート・ゴールとして開催しました。参加者は子ども、
保護者合計39名と昨年より減ってしまい、5チームと少
し寂しくなりましたが、ほとんどが親子参加で、親子で
たくさん会話しながら歩いている様子が見られました。
12月の開催で、少し気温も低く、日陰では肌寒かつた
ですが、天候にも恵まれ、子どもたちは元気にスタート
しました。イチヨウの紅葉がちょうど見頃で、季節を感
じながら大人も楽しむことができました。

長島・桑川地区にはたくさんの立派なお寺や神社が
あり、多くの参加者が初めて来た場所で新たな発見に
目を輝かせていました。

どのチームも2時間〜2時間半程度かかり、歩数を
計測していったところ約7千歩に達し、5キロ前後歩いた
ことになりました。それでも低学年の子どもも元気に完
走して、大人の方が疲れている様子でした。

今年は付随して行う種目はターゲットボッチャでし
た。5メートルほど離れた場所からの向かって投じま
す。最初は落下した後に止まらずにオーバーしてしま
うケースが多かったですが、投げ方を教えてあげると、
多くの子どもが中心付近の10点を獲ることができ、改め
て子どもたちの飲み込みの早さに驚きました。

次回もたくさんの参加をお待ちしております。

長島・桑川地区 二之江地区 区民運動会

令和5年9月17日(日)第二葛西小学校
令和5年9月24日(日)二之江第二小学校



【事務局】

第48回
葛西まつり

令和5年10月15日(日)葛西地区民館周辺

今年は4年ぶりに第48回葛西まつりが開催
されました。

当日は雨天にも関わらず多くの方がお祭
りを楽しんでくださいました。

当地区委員会でも例年出店しているバザー
は出店できませんでしたが、今後も葛西地区
委員会として葛西まつりを多方面から支えて
いきたいと思っております。

【事務局】



ふれあい 第59号《2月発行》

発行: 青少年育成葛西地区委員会
編集: 広報部
事務局: 〒134-0083 中葛西3-10-1
江戸川区葛西事務所地域サービス係
TEL 3688-0434 FAX 3688-8441



編集後記

広報誌「ふれあい」59号(2月
号)が出来上がりました。
59号は7月から12月の行事を
掲載しています。

記事の中でも〇年ぶりという
言葉がありますが、新型コロナウイルス
ウィルス感染症の5類移行後、
久しぶりに開催できた行事や
盛大に開催できた行事があり
ました。

なお、「ふれあい」の発行にあ
たっては、多くの皆様にご協力
いただいたことに感謝申し上
げます。

【広報部副部長 山口 秀行】



夏休み工作教室

令和5年8月13日(日)
長島・桑川コミュニティ会館

夏休み工作教室を令和5年8月13日(日)、長島・桑川コミュニティ会館スポーツルームにて実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、会場に集まっていた開催は実に4年ぶりでしたが、コロナ前を上回る92名もの親子にご参加いただきました。

今回は、「万華鏡」「願い星」「紙コップロケット」を組み合わせたパズルの4つの工作を用意しました。メインの「万華鏡」は、鏡の代わりにプラ板を使い、筒の底に入れたビーズが描くパターンを覗いて楽しむものです。

道具類が不足し、待ち時間が生じてしまったことは申し訳なかったです。それでも、時間をかけて手づくりした万華鏡を覗く子どもたちの顔は輝いていました。アンケートにも「簡単に作れるのにとても綺麗で感動した」との感想が多く寄せられ、工作自体には満足していただけたようです。

小さな子どもたちには「紙コップロケット」が好評だったようです。紙コップと輪ゴムで簡単に作ることができ、すぐに遊べます。自分の好みの飾りつけをしたロケットを何度も飛ばして遊んでいる姿が印象的でした。

家族や仲間たちと一緒に工作している子どもたちの姿はとても楽しそうでした。夏休みの良き思い出作りに貢献できたのであれば幸いです。

【青少年部長 小林 一規】



秋期講演会

救急救命講習会

令和5年11月12日(日)葛西区民館
西市民館にて救急救命講習会を開催いたしました。

講師には救急救命のベテラン指導員である、成田航空少年団の沖野勇先生をお招きし、子どもたちはもとより、保護者・研修部の部員に対してもとても熱意あるご講義をいただきました。

講習では、わかりやすい言葉と場面に応じた具体的な実演で興味を引きながら、救急救命の重要性を子どもたちに理解させていました。

特に、トマトジュースを使用した腕からの出血シンの再現は、大人から見ても恐ろしくなるほどの臨場感で、子どもたちの視線は釘付けでした。子どもたちはヒトの許容できる出血量がトマトジュースのペットボトル(200ml)約5本と、大人になっても覚えておくことだろうと思います。

また、人体模型でのAEDと心肺蘇生法の実技では、子どもたちはみな積極的に参加し、楽しみながらも沖野先生からの指導を着実に実践しているのが印象的でした。

その他にも、シャツを細長く裁断し包帯の代用にする方法なども覚えられ、幅広く救急救命の知識を習得できました。

今後とも定期的に救急救命講習会を開催し、万が一の時に備えていけたらと思います。

【研修部員 彦田 徹】

第43回 ふれあい女子バレーボール大会

令和5年8月27日(日) 葛西小学校・中学校 屋内運動場



令和5年8月27日(日)ふれあい女子バレーボール大会が、葛西小学校・中学校屋内運動場において開催されました。コロナ禍によるブランクを挟んで久々の開催でしたが、参加された8チームの選手のみならずには、ブランクを感じさせない白熱した試合を見せていただきました。コロナ禍では、チーム内での練習もままならなかったと思いますが、試合時の感覚や経験値がブランクを払拭したと感じました。

優勝の桑川町親和会の選手のみならず、準優勝の長島町会の選手のみならず、3位の葛西小PTAの選手のみならず、惜しくも入賞を逃したチームの選手のみならず、素晴らしい試合をありがとうございました。みなさんからパワーと、来期の開催への大きな希望をいただきました。

来年もまた、白熱した試合を見せてくれることを楽しみにしています。

【スポーツ・レク部部長 立花 誠】

結果は下記のとおりです。

3位	2位	1位
葛西小PTA	長島町会	桑川町親和会

第41回 ふれあい卓球大会

令和5年8月27日(日) 葛西小学校・中学校 屋内運動場



今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で3年間中止になっていた「ふれあい卓球大会」が葛西小学校・葛西中学校校技場で開催され、5チーム(35名)による戦いが繰り広げられました。

学生の参加は、他の大会と重なり6名と少なく、急遽小学生の参加も認められた大会となりました。プレーに関しては、フットワークを使い、大人顔負けのプレーを見せていました。

大会は、4連覇中の自治会コミニティー5が不参加で、この町会が優勝してもおかしくない状況で、どの試合も気合の入った熱戦でした。

各町会と役員の協力のもと、無事大会を終了することができました。また来年も当地区委員一同大会を盛り上げて、参加チームを増やしていきたいと思っています。

【スポーツ・レク部長 嶋田 孝志】

結果は下記のとおりです。

3位	2位	1位
桑川町親和会	くわたく	長島町会A

夏休み夜間パトロール

令和5年7月26日(水)・8月2日(水)

一之江地区及び長島・桑川地区

今年も7月26日、8月2日の両日に参加者延べ30名で実施しました。

パトロール地域を一之江地区と長島・桑川地区に分け、それぞれの地域を車4台に分乗して行いました。

夜8時、葛西区民館を出発しパトロールが始まります。二之江さくら公園など地域の大きな公園では、赤色誘導灯を持つ公園内を巡回します。

今年も葛西警察署より青色パトロール車を借用しました。青色灯がグルグルと点滅しながらのパトロールは、子どもたちを犯罪や事故から守るパトロールの効果を高めたことと思います。

このパトロールは青少年部の活動ですが、他の専門部の委員も多く参加しており、地区委員会の結束の強さを感じました。

【副委員長 森澤 寛】

